

2009 年度

板倉 世界ハーフをつかむ日本人3位の好走

札幌国際ハーフマラソン (北海道:札幌市)

板倉具視

ハーフマラソン 1時間02分58秒

札幌国際ハーフマラソンは5日、札幌市円山陸上競技場発着で行われ、女子は世界選手権(8月・ベルリン)長距離代表の中村友梨香(天満屋)が1時間9分20秒で初優勝した。男子はケニアのガトゥニ・ゲディオ(日清食品グループ)が1時間0分39秒で初制覇し、3連覇を狙った同国のメクボ・モグス(アイテム)は2位だった。

世界選手権のマラソン代表では男子の佐藤敦之(中国電力)が1時間2分54秒で日本人トップの9位。徳島県から出場した板倉具視(大塚製薬)が11位に入った。藤原新(JR東日本)は1時間7分0秒で98位と低迷。女子は前回優勝の加納由理(セカンドウィンドAC)が1時間11分19秒で5位に入り、藤永佳子(資生堂)は1時間11分58秒で9位、渋井陽子(三井住友海上)は1時間14分9秒で23位だった。

◇3位までと徳島関係

【男子】①ガトゥニ・ゲディオ(日清食品グループ)1時間0分39秒②モグス(アイテム)1時間0分58秒③シユイ(日立電線)1時間1分33秒④板倉具視(大塚製薬)1時間2分58秒⑤末吉勇(大塚製薬)1時間4分19秒⑥尾池政利(大塚製薬)1時間5分31秒⑦原田敦之(四国電力、美鷹商高出)1時間6分52秒⑧和田壮平(四国電力、徳島東工高出)1時間7分27秒

【女子】①中村友梨香(天満屋)1時間9分20秒②モンビテ(大塚製薬)1時間9分36秒③伊藤舞渾瑠(大塚製薬)1時間12分47秒④三倉会心の走り板日本人3位

入社3年目の板倉が日本人3番目でゴール。約4年ぶりのハーフマラソンで自己記録(1時間3分54秒)を1分近く更新し「思った以上のレースができた」と会心の走りに声を弾ませた。スタート直後は60番前後とやや後方に位置。徐々に順位を上げ、5分すぎに先頭集団に追いついた。10分、15分をリズムよく通過すると、上りでコースが厳しくなる後半をスピードも落とさず乗り切った。ゴール地点の競技場でも前を行く佐藤と高橋(トヨタ自動車)の背中を追い、ラストスパート。4秒差まで詰め寄った。

今大会は世界ハーフマラソン代表選考会も兼ねており、代表入りが濃厚。「(選ばれれば)海外での試合は初めて。コンディション調整など経験できないことを学びたい」と自身のレベルアップに意欲を見せた。(城福)

板倉(大塚製薬)11位
女子は中村初V



札幌国際ハーフマラソン

板倉具視

徳島新聞 7/6